

2020年10月吉日

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

**ABINC認証の緑地に気象観測機器システムPOTEKA®を設置  
～認証事業所効果検証チームでデータを活用～**

ABINC(以下、弊社団とします。)では、2013年設立以来、生物多様性の保全に配慮した企業緑地を評価・認証し、2020年度には認証取得事業所が累計で100件を越す見込みです。SDGs達成に貢献する企業経営が求められる現在、ABINC認証においても生物多様性の保全に対する取組の効果をさらに可視化し、発信する必要性が高まっています。

この度、弊社団では、ABINC認証を取得した事業所の一つである「大手門タワー・ENEOSビル／大手町パークビルディング」様のご協力を得て、その外構緑地に、気象観測機器システムPOTEKA®<sup>1</sup>を設置し、緑地の微気象観測実験を10月1日より開始いたしました。観測は2021年9月末までを予定し、2020年7月から8月の期間を含め、1年を通じた気温や湿度等の情報がPOTEKA®サービスを通じて公開されます。

このデータは、弊社団内に立ちあげた認証事業所効果検証チーム<sup>2</sup>において、認証事業所の緑地が持つ効果の一部として解析を行い、検証結果は報告書として公開する予定です(2021年度発行予定)。

また、本データはABINCが参加するGreen Tokyo研究会【代表 東京大学大学院 横張 真教授、事務局 一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会(エコツツェリア協会)】との、情報の共有化の取組の一環として、Webサービス“TOKYO OASIS”にも活用される予定です。



「大手町パークビルディング」の外構緑地



気象観測機器

<sup>1</sup> 超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKA®についての詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.meisei.jp/poteka/>

<sup>2</sup> 認証事業所効果検証チームは、ABINC認証事業所の効果を検証し、その効果をFact sheetとして発信するために弊社団に設けられた特別チームのことで。

## 【一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)について】

生物多様性条約第10回締約国会議(CBD COP10)において採択された愛知目標および生物多様性戦略計画で掲げられた、2050年までの長期目標「自然と共生する世界」の実現と、2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」の実現のために、ビジネスの貢献が求められています。当法人は、「自然と共生する世界」の実現にビジネスの貢献を推進するために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体と協働して、いきもの人と人が共生できるしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」を推進することを目的として設立されました。



### 【団体概要】

■名称: 一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

[英文名: Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community  
=略称ABINC(エイビंक)]

■設立: 2013年12月25日 ■連絡先: [info@abinc.or.jp](mailto:info@abinc.or.jp) ■ホームページ: <https://www3.abinc.or.jp/>

■理事: 森本 幸裕 (京都大学 名誉教授) <会長>

原口 真 (一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 顧問) <副会長>

黒田 大三郎 (公益財団法人 地球環境戦略研究機関 シニアフェロー)

足立 直樹 (一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 理事・事務局長)

村山 顕人 (東京大学 大学院工学系研究科 准教授)

■監事: 梶谷 修 (一般社団法人 日本環境アセスメント協会 会長)

中山 隆太郎 (中山隆太郎税理士事務所 代表)

<本発表に関するお問い合わせ先>

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)事務局 事務局長: 安齊 担当: 渡辺・岩沢

※事務局業務取扱い受託 MS&ADインターリスク総研株式会社 株式会社シーエーティ

e-mail: [abinc@catcorp.jp](mailto:abinc@catcorp.jp) TEL: 045-228-7696